

自動車税制改革フォーラム

X(旧ツイッター)へ投稿しユーザーに訴求

カー太くんがクルマの税金の問題を分かりやすく訴える

閲覧総数(インプレッション数)は数千から1万近くに

自動車税制改革フォーラム(事務局:日本自動車会議所)は、若者をはじめ広く一般にアピールできるX(旧ツイッター)を活用した訴求活動を今年度も実施し、フォーラムのイメージキャラクター「カー太くん」が、自動車ユーザーの98.4%が負担に感じる税金について分かりやすく訴えました。Xでの展開を前に、フォーラムでは全国のユーザーから自動車の税金に対する意見をまとめており、カー太くんが北海道から九州までクルマで日本列島を縦断しながらユーザーの多様な「声」を紹介。昨年12月に週2~3回、計10回の投稿を行いました。

2020年から発信しているカー太くんの知名度も上がっており、毎回、閲覧総数(インプレッション数)は数千から1万近くに達し、最多の回では2万4,000を超えました。フォーラムでは今後も、税制の議論が活発に行われる10月から12月をメドに、複



9600を超える閲覧数があった「走行距離課税反対」の投稿

雑なクルマの税制をカー太くんが分かりやすく解説・投稿していく予定です。

○アカウント

https://twitter.com/carta_jp

「みえ交通安全・環境フェスタ2023」開催



三重県自動車会議所は2023年12月3日、中部運輸局三重運輸支局、日本自動車連盟三重支部との共同開催で、三重県、三重県警察、津市の後援、自動車関係団体等の協賛のもと、「交通安全の意識の高揚」と「運輸・交通分野における環境対策の取り組み」について広く啓発するために、三重県総合博物館(Mie Mu)において「みえ交通安全・環境フェスタ2023」を開催いたしました。当日は天候もよく、約2,500人の来場者がありました。

「人と環境にやさしい自動車先進技術の情報発信

及びサポカーの普及促進」として、来場者に自動ブレーキ、ペダル踏み間違い防止装置の体験や、自動駐車支援装置の試乗体験をしていただきました。「交通安全啓発」として、運転者適性診断、夜間視力測定や歩行環境シミュレーターの体験、電動キックボードの試乗や法改正による交通法規等の説明コーナーも設けました。また、子どもたちが自動車の整備を体験できる「チャレンジキッズメカニック」やお絵描きバス、おまわりさんの制服を着て記念撮影のコーナーは子どもたちに大人気でした。

当会議所ではゲーム感覚で俊敏性を測定できる「クイックアーム」や「クイックステップ」のコーナーを設け、来場者の皆さんが俊敏性を競い合い多くの方が体験されました。また、主だったブースにクイズコーナーを設けてのクイズラリーも来場者に人気を得て、豪華景品の抽選に盛り上がりました。コロナ禍で開催することのできなかった「みえ交通安全・環境フェスタ」も関係機関、関係団体等の協力を得て、4年ぶりに開催することができました。

今後も交通安全や環境問題に対する意識高揚を図る機会を提供していきたいと考えています。